

教育子ども委員会 説明資料(1)

瑞穂公園再整備(案)について

平成27年12月14日
教育委員会

目 次

	頁
1 瑞穂公園の現状.....	1
2 瑞穂公園の課題.....	3
3 瑞穂公園の再整備.....	4

1 瑞穂公園の現状

(1) 施設概要

開園年度	昭和 16 年度
都市計画決定	昭和 22 年度
都市公園法による設置	昭和 31 年度
公園面積	24.46ha (244,600 m ²)
所在地	瑞穂区萩山町 3 丁目・4 丁目、師長町、山下通 5 丁目、豊岡通 3 丁目、田辺通 3 丁目・4 丁目
公園種別	運動公園

(2) 瑞穂運動場の主な施設

区分	竣工	収容人員	備考
陸上競技場	昭和 15 年度 (改築) 昭和 56 年度 (改修) 平成 6 年度	27,000 人	昭和 25 年 第 5 回国民体育大会 昭和 58 年 全国高等学校総合 体育大会 (愛知総体) 平成 6 年 第 49 回国民体育大会 (わかしゃち国体)
北陸上競技場	昭和 25 年度 (移転改築) 平成 5 年度	3,000 人	
ラグビー場	昭和 25 年度 (改築) 平成元年度	15,000 人	
野球場	昭和 32 年度 (改築) 平成 2 年度	18,600 人	
田辺陸上競技場	昭和 53 年度 (改修) 平成 6 年度	—	
レクリエーション広場	平成 6 年度	—	

(注) 上記のほか、ラグビー練習場、相撲場、弓道場、アーチェリー場、テニスコート、屋外・屋内プール、トレーニング室、宿泊研修室等がある。

(3) 施設の利用状況

区分	平成 26 年度 利用者数	主な利用状況
陸上競技場	455,125 人	○県内唯一の第 1 種公認競技場として全国大会を始めとする各種陸上競技大会を開催 ○J リーグ名古屋グランパスのホームスタジアム
北陸上競技場	205,281 人	○陸上サブグラウンドとしての利用 ○個人利用・サッカーの練習などで利用
ラグビー場	148,180 人	○トップリーグを始めとするラグビーの利用 ○ラグビー・サッカー教室での利用
野球場	192,670 人	○大学野球、高校野球など硬式野球の利用 ○準硬式野球や軟式野球、ソフトボール日本リーグなどの利用
田辺陸上競技場	17,600 人	○投てき練習場としての利用 ○野球練習場等としての多目的利用
レクリエーション広場	112,920 人	○各種競技の準備運動としての利用 ○区民まつり、運動会などイベント会場としての利用

(注) 上記施設を始め、瑞穂運動場全体の 26 年度利用者数は、1,432,995 人である。

(4) 駐車場の設置状況

駐車場名	駐車台数	備考
第 1 駐車場 (地下)	444 台	
第 2 駐車場 (陸上競技場)	82 台	
第 3 駐車場 (ラグビー場)	100 台	
第 4 駐車場 (研修棟北)	46 台	
第 5 駐車場 (テニスコート)	18 台	
臨時駐車場 (野球場)	118 台	他に大型 6 台有
計	808 台	

2 瑞穂公園の課題

<瑞穂公園における3つの理念>

- ① 市民が安全・安心に利用できる施設として整備することにより、多くの市民利用に供する施設を目指す。
- ② 国際大会・全国大会を積極的に誘致し、にぎわいを創出することにより、スポーツを核とした本市の活性化を目指す。
- ③ 広域避難場所として、災害時に市民が安全・安心に避難できる施設を目指す。

<課題>

上記理念に対し、現状の瑞穂公園では次の課題を有している。

(1) 陸上競技場等の老朽化

昭和56年度に改築し、築後35年近く経過している。

また、平成6年度開催のわかしゃち国体に向けた整備以降、20年以上大規模な改修を行っておらず、老朽化が進んでいる。

(2) 陸上競技場の国際大会等への未対応

競技場の収容人員が少ないことに加え、大会を運営するために必要な部屋数が不足している。

(3) 陸上競技場のJリーグ施設基準不適合

区分	基準	現状
洋式トイレ数	1,000名の観客に対し 5台以上	32台 (1,000名あたり約1.6台)
屋根	観客席の1/3以上を覆うこと (新設及び大規模改修を行う場合、 すべての観客席を覆うこと)	カバー率24%
観客席	全席個室であること	一部のみ個室

- (4) 駐車場の不足・大規模大会開催時等における周辺道路の渋滞
 ○サッカー・陸上競技・ラグビー・野球の大規模大会が開催時や、複数の大会が同時に開催される場合、駐車場の不足により満車となる。
 ○その結果、違法駐車や第1駐車場入口のある市道瑞穂東西第8号線（野球場北側の道路）に渋滞が発生し、近隣住民に迷惑をかけている。
- (5) 防災機能の強化
 ○市内南東部の緊急物資集配拠点が手薄となっており、瑞穂公園内施設において、防災機能の付加に配慮する必要がある。
 ○その場合、現在用地取得を進めている区域（レクリエーション広場東）は、洪水・内水ハザードマップ上0.5～2.0mの浸水区域とされており、緊急物資集配拠点や、災害発生時の帰宅困難者対策としては不向きな場所となっている。
- (6) レクリエーション広場の安全性
 排水機能が劣化して水はけが悪くなっているほか、ドライエリアに侵入が可能となっており、安全性に問題が生じている。

3 瑞穂公園の再整備

区分	内容
陸上競技場の整備	○国際大会・全国大会の開催等、今後の需要も勘案し、改築について検討 ←【課題解消】陸上競技場の老朽化、国際大会等への未対応、Jリーグ施設基準不適合など
施設の再配置	○建設予定の体育館が緊急物資集配拠点となった場合の可能性も含め、田辺陸上競技場・レクリエーション広場・体育館予定地の施設再配置について検討 ←【課題解消】瑞穂区において体育館が未整備、市南東部の緊急物資集配拠点が手薄、利用頻度の高い田辺陸上競技場・レクリエーション広場の機能維持など
地域の渋滞対策	○駐車場の増設及び車両動線の変更について検討 ←【課題解消】駐車場の不足、大規模大会開催時等における周辺道路の渋滞など

<参考図>



